

2025年度 JANPU
説明会・報告会
2025年3月28日



2025年度

健康危機管理教材作成・運用検討委員会

感染症等の健康危機管理に対応できる
保健人材養成のためのe-learning教材の開発

本事業の経緯

文部科学省の委託事業

2022年度

現場（保健所・保健センター、病院、訪問看護ステーション）と大学等における健康危機対応のニーズと課題を調査する

ヒアリング
デルファイ調査

感染症対応を含む健康危機管理に必要なコンピテンシーならびに人材像を明確化する

2023年度

感染症等の健康危機管理に強い保健人材育成に必要なモデル教育プログラムの考案、コア科目に関するe-learning教材の開発

ワークショップの開催
・コンピテンシー
・インストラクショナルデザイン

教材プラットフォームの決定
e-learning教材開発

2024年度

E-learning教材開発と公開

モデル施行
大学への説明会
→モデル事業
→学生と教員、現場へのヒアリング

マニュアル作成

JANPUの独自事業

2025年度

大学院/リカレント教育
「感染症に強い看護職人材」に向けた教材の作成と公開

学部用教材の広報活動
および維持・管理

委員会メンバー

- 委員長：荒木田美香子（川崎市立看護大学）

- 委員：

- **感染管理専門チーム**

渡部節子（湘南医療大学）、平尾百合子（順天堂大学）、
遠藤英子（国際医療福祉大学大学院）、佐藤淑子（大阪公立大学）
三橋睦子（国際医療福祉大学）、岡田忍（川崎市立看護大学）

- **教材開発運用チーム**

荒木田美香子、春日広美（千葉県立保健医療大学）、
春山早苗（自治医科大学）、鈴木美和（三育学院大学）、
川上和美（川崎市立看護大学）

〈協力員〉 佐藤ゆか（元愛知医科大学）、堀口一明（株式会社医学書院）

e-learning教材のコンセプト

- コンピテンシーに基づいた教材
- 学生・学習者が考える場面がある — 状況設定・クイズ
- 実際の場면을イメージできる — 動画・イラスト
- 教員も学生も自由に使える
- 講義で、演習で、自己学習、国家試験対策で使える
- 部分使用も可能
- 自分の成果が確認できる（事前テスト・事後テスト）
- 受講証明書がでる
- 教員は、学生の学修状況を把握できる

3種類の教材へのアクセス

令和7年度文部科学省委託事業 ▶

重要

看護学教育モデル・コア・カリキュラム
(令和6年度改訂版) ▶



50周年

50周年記念式典・特別講演・
記念パーティ ▶



日本看護系大学協議会が提供する
e-learning教材 (災害看護学・感染看護学) ▶



JVCampus Empower [知] Wisdom
日本のオンライン国際教育プラットフォーム

Search Content 🔍 My Page マイページ 日本語 / English

カテゴリ ▼ 機関一覧 ▼ 機関側サイト ▼ 連携プロジェクト ▼ 国内外支援 ▼

トピックス | 学習コンテンツ

機関HPへ

日本看護系大学協議会 (JANPU)
が提供する e-learning教材 (災
害看護学・感染看護学)

©日本看護系大学協議会. All rights reserved.

e-learning教材の視聴・活用について

教材を視聴・活用するには、JV-Campusへのユーザー登録（無料）が必要です。

e-learning教材マニュアルには登録の仕方も掲載しておりますのでご確認ください。

以下のJV-Campusページへアクセスし、
右上の【Sign Up サインアップ】からユーザー登録してください。

● JV-Campus内「日本看護系大学協議会のページ」

<https://www.jv-campus.org/jvc-provider/348517/>

*教材マニュアルはこのページからも閲覧・取得できます



大学院・リカレントを加えた3種類の教材

The image displays three promotional cards for nursing activities, each featuring a cartoon rabbit character and the logo of the Japan Association of Nursing Programs in Universities (JANPU). The cards are arranged horizontally. The third card from the left is highlighted with a red border.

- Card 1 (Left):** Titled "On Air" and "大規模災害における看護活動" (Nursing Activities in Large-scale Disasters). It features a rabbit character and a background illustration of people in a disaster setting. The main text is "大規模災害における看護活動". At the bottom, it has a "Learning" button and a "無料" (Free) button.
- Card 2 (Middle):** Titled "On Air" and "感染症パンデミックにおける看護活動" (Nursing Activities in Infectious Disease Pandemics). It features a rabbit character and a background illustration of a person wearing a mask and gloves. The main text is "感染症パンデミックにおける看護活動". At the bottom, it has a "Learning" button and a "無料" (Free) button.
- Card 3 (Right, highlighted):** Titled "On Air" and "大学院・リカレント教育向け 感染看護に関わる活動" (Activities Related to Infection Nursing for Graduate and Re-entry Education). It features a rabbit character and a background illustration of a person in a lab coat. The main text is "【大学院・リカレント教育向け】感染に関わる看護活動". At the bottom, it has a "Learning" button and a "無料" (Free) button.

大学院生/リカレント用教材の構成

単元	大学院/リカレント教育「感染症に強い看護職人材」
単元 1 医療機関から在宅までの肺結核患者の療養生活支援	項目 1 : 肺結核の病態および診断の理解 項目 1 + α : 肺結核以外の病変、肺結核と鑑別が必要な疾患 項目 2 : 一般病棟に入院する肺結核患者への対応 項目 3 : 入院中の療養生活を支える看護支援 項目 4 : 在宅での抗結核薬の服薬継続支援
単元 2 医療施設における薬剤耐性菌の感染対策	項目 1 : 薬剤耐性菌の基礎知識 薬剤耐性菌 (ESBL) について知ろう！ 項目 2 : 抗菌薬の適正使用の実際 抗菌薬の適正使用を知ろう！ 項目 3 : 病院における薬剤耐性菌 (ESBL) 感染対策 項目 4 : 薬剤耐性菌 (ESBL) を保菌している脊髄損傷患者の看護
単元 3 高齢者施設における感染対策： Covid-19	項目 1 : 高齢者の感染症の特徴と高齢者施設における平時の感染対策 項目 2 : 入所者がCOVID-19を発症した場合の対応 項目 3 : 職員がCOVID-19を発症した場合の対応 項目 4 : COVID-19のクラスター発生時の対応
単元 4 パンデミックにおける感染対策： 新興感染症	項目 1 : 新興感染症のパンデミックに備える 項目 2 : 新興感染症患者の受け入れと対応 項目 3 : パンデミックまん延期の重症患者を受入れる病院での対応 項目 4 : 新興感染症のまん延期の面会と看取り

学習目標

- 終末期の新興感染症患者の看取り時の面会の判断において考慮が必要な点を説明できる
- 新興感染症患者のご遺体の適切な死後の処置について説明できる
- 新興感染症流行期における患者と家族の面会の判断において考慮が必要な点を説明できる

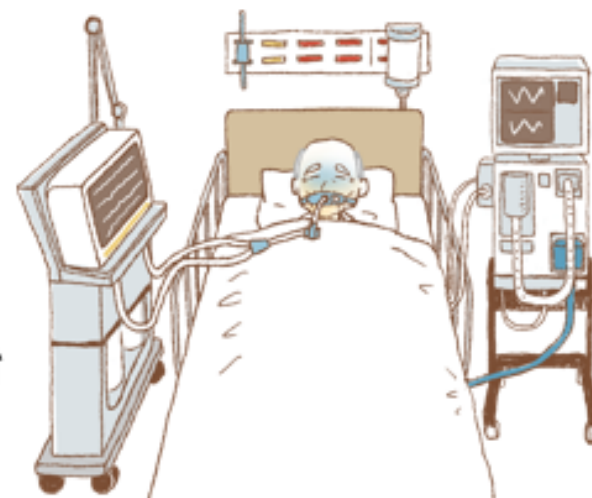
目次

- 事例の情報 1 : 本事例の新型インフルエンザの状況・人物紹介など
- 考えてみよう 1 : 新興感染症患者の看取り時の面会
- 事例の情報 2 : 岡本さんの家族の意向と面会
- 考えてみよう 2 : 新興感染症患者のご遺体の取り扱い
- 事例の情報 3 : ご遺体のケア・ご遺体と家族の面会
- 参考 : 新興感染症での死別の特徴
- 事例の情報 4 : ICTラウンド後のミーティング
- 考えてみよう 3 : 新興感染症流行期における面会制限の緩和
- クイズ
- 参考・引用文献

事例の情報 1：新型インフルエンザの状況・人物紹介など

入院・診断までの流れ

- ▶ ○月×日 岡本健男さんに38℃台の発熱と息苦しさが出現
- ▶ 新型インフルエンザの疑い、重症化リスクがあることから妻に付き添われて、かかりつけの東若草総合病院の発熱外来を受診
- ▶ 新型インフルエンザ PCR検査陽性
- ▶ 感染症病棟に入院
- ▶ 新型インフルエンザによるCOPDの急性増悪と診断
- ▶ 直ちに挿管し、人工呼吸器による呼吸管理を開始



考えてみよう2：質問

面会から2日後、岡本さんは連絡を受けて来院した妻に見守られながら、息を引き取りました。

岡本さんのご遺体のケア・処置、家族への対応について考えてみましょう。



- ① 岡本さんには、気管内チューブ、CVカテーテル、末梢静脈カテーテル、尿道留置カテーテルが挿入されていました。**ご遺体のケア・処置に際して、どのような点に注意**する必要がありますか？
- ② **家族が死後の処置への参加を希望した場合**はどのような対応をしたらよいと思いますか？

事例の情報4：ICTラウンド後のミーティング

岡本さんが亡くなってから2カ月後

東若草総合病院では…

- 面会者から入院患者への感染を防止するため、パンデミック宣言直後から原則面会禁止
- 個室入院患者で急変時等に限り、親族のみ2名まで15分以内に限り面会を認めていた

ICTラウンド後のミーティングの場面

ICTメンバー：

今日のラウンドで、複数の病棟から、患者さんがご家族と面会する機会を増やせないかとの要望がありました。特に高齢の患者さんは、ご家族が面会に来ないことで、せん妄をおこしたり、認知機能の低下が進んでしまうことを懸念していました。

ICTリーダー（感染症専門医）：

そうですね。パンデミックが始まってから、かなり状況も変化したし、感染管理優先の面会制限を見直す時期かもしれませんね。



クイズ

正解

最後にクイズ
新興感染症が

新興感染

重症化リ

新興感染

病院の所

面会制限

正解です。

■ 1は適切ではない。 パンデミックの初期で、新興感染症の病原性や感染力、感染経路が不明な場合は、嚴重に個人防護具を装着したとしても、家族の感染リスクは存在する。嚴重な個人防護具の装着に慣れていない家族が、個人防護具を脱ぐ過程で病原体が手指などに付着し、それを拡散する可能性もある。このような場合は、たとえ終末期であっても、対面での面会は避け、それに替わる方法を検討することが望ましい。

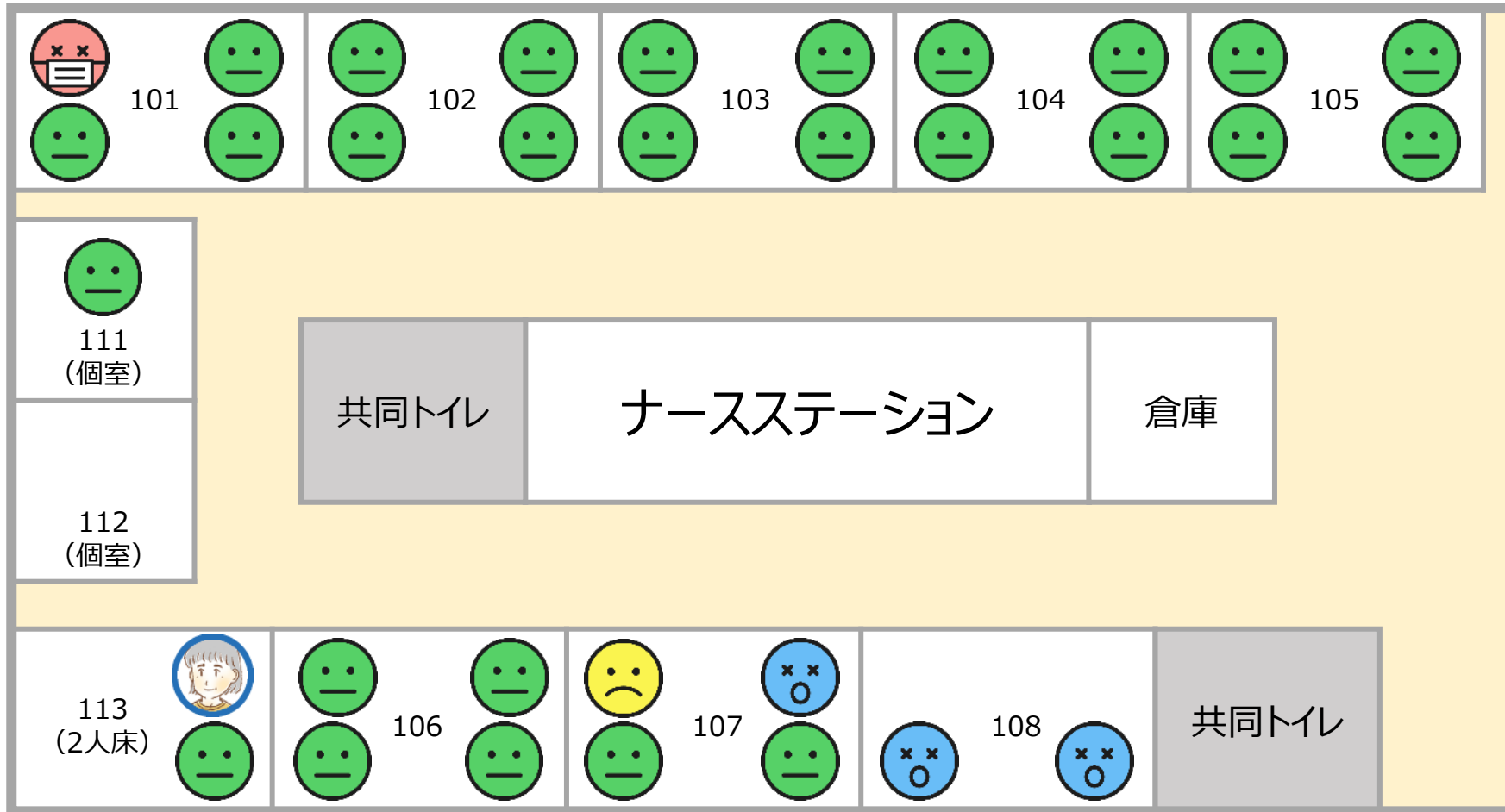
○ 2は適切である。 重症化のリスクがある家族が感染すると、重篤な症状をきたしたり、最悪の場合は死亡することもあるため、感染リスクのないリモート面会を検討するのは適切である。ただし、患者が看取り期であったり、感染経路が判明し、PPE装着によって確実に感染を防止できる場合や家族が対面での面会を強く希望する場合には、柔軟に対応することが望ましい。

■ 3は適切ではない。 新興感染症で亡くなった患者は通常、気管内チューブ、カテーテル類を挿入されていることが多く、死後の処置はエアロゾル発生や体液・血液による汚染のリスクを伴う。したがって、新興感染症患者のご遺体のケアは、専門職が適切な感染防止対策のもとに迅速に行うことが適切であり、ご家族の参加は控えてもらう。

もらう

考えてみよう2：病棟のリスクマネジメント（病棟のコホーティング・個室隔離）

高橋さんの入院7日後、有症状者への病棟スクリーニングの結果、高橋さんに加え、4名の患者よりESBL産生大腸菌が検出された（いずれも尿・便）



主な患者の紹介

- 101-105号室の患者は比較的ADLが高い
- 106-108,113号室は比較的ADLが低く、ケアに全介助を要する
- 111号室の患者は重症である
- 激しい下痢を訴えているのは101号室の陽性患者である
- 107号室の陰性患者の1人は胸腔ドレナージ中

On Air



大規模災害における
看護活動

一般社団法人
日本看護系大学協議会
Japan Association of Nursing Programs in Universities

大規模災害における看護活動

Learning

無料

On Air



感染症パンデミックに
おける看護活動

一般社団法人
日本看護系大学協議会
Japan Association of Nursing Programs in Universities

感染症パンデミックにおける看護活動

Learning

無料

教材の構成

一地域をモデルとして展開

学部生用教材

災害看護 4単元
(16項目)

感染看護 5単元
(22項目)

大学院生/リカレント
用教材





山中保健所
保健師



弘子さん

時枝さんの同居家族



佐藤時枝さん 78歳（無職）

- 11月8日に発症（入院中）
- 症状が出る5～7日前に特別養護老人ホームやまなかのデイサービスを利用

時枝さんの夫



佐藤博さん

80歳（無職）

- 肺気腫で在宅酸素療法中
- 訪問看護を利用1回/週

時枝さんの長男



佐藤明さん

50歳（会社員）

- 1か月間、出張中

長男の妻



佐藤弘子さん

45歳（飲食店勤務）

時枝さんの孫



佐藤次郎さん

5歳（保育園児）



佐藤かおりさん

11歳（小学生）



佐藤一郎さん

15歳（中学生）

大規模自然災害の想定

大規模地震 発生

- 令和X年9月16日（木）午前3時、A県東部を震源とするM8.0の地震が発生
- A県内では震度6弱～震度7の強い揺れを観測
- 山中市は震度6強、震度2～4の余震が続いている

地震発生によるライフラインの被害影響（山中市）

令和X年9月16日（木）午前9時 現在

- 上下水道断水率90%
- 停電率90%
- 固定電話・携帯電話は通信制限により通じにくい
- 防災行政無線・衛星携帯電話は使用可能
- インターネットは使用可能
- メールは遅れて届く



大規模自然災害における看護活動 4単元

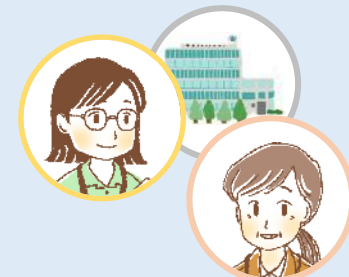
単元	項目
単元1 発災直後～72時間以内の看護・保健活動	項目1 災害対策の根拠となる法律 項目2 災害の各フェーズにおける保健活動の概要 項目3 災害対応の基本
単元2 発災直後～72時間以内の避難所における看護・保健活動	項目1 災害時の医療体制 項目2 災害時のトリアージ 項目3 医療ニーズが高い人々への支援
単元3 発災直後～72時間以内の避難所における看護・保健活動	項目1 避難所での生活環境の衛生対策 項目2 避難所における災害時要配慮者への対応およびアセスメントの視点 項目3 危機的出来事に見舞われた人々への支援 項目4 避難所における倫理的課題への対応 項目5 リスクコミュニケーション
単元4 72時間以降の避難所における看護・保健活動	項目1 二次的健康課題のアセスメントと対応（個人） 項目2 避難所の生活環境による二次健康課題のリスクアセスメント（集団） 項目3 避難所における二次健康課題の予防活動（集団） 項目4 健康危機発生時の看護職自らの安全管理・健康管理 項目5 健康危機対応における連携・協働－リーダーシップとメンバーシップ－

考えてみよう 避難所責任者からの依頼への対応



あなたが磯野保健師の立場なら、どちらを選択しますか？

以下の選択肢をクリックすると、解説をご覧ください。
その後、選択していない方の解説もご覧ください。



①

「市の統括保健師から、後任保健師と交代するよう指示がありました。
でも、私がこれまでの経過をよく知っていますので、後任保健師と一緒に、避難所運営委員会に参加します。」

②

「市の統括保健師から、後任保健師と交代するよう指示がありました。
後任保健師によく伝えておきますので、後任保健師を避難所運営委員会に出席させます。」

On Air



大規模災害における
看護活動



一般社団法人
日本看護系大学協議会
Japan Association of Nursing Programs in Universities

大規模災害における看護活動

Learning 無料

On Air



感染症パンデミックに
おける看護活動



一般社団法人
日本看護系大学協議会
Japan Association of Nursing Programs in Universities

感染症パンデミックにおける看護活動

Learning 無料

感染症パンデミックの想定

新型インフルエンザ（学習用の想定）

今回の学習では、次の**架空の新型インフルエンザ**を想定します。

20XX年9月
○国で原因不明の重症肺炎患者が増加、
全世界に拡大



20XX年10月
世界保健機関（WHO）が
パンデミックを宣言

現在までのWHOからの発表内容

- 新型インフルエンザの型：A型H1N1
- 潜伏期間：5～7日
- 感染経路：主にヒトからヒトへの飛沫感染であるが、空気感染の事例がある
- 感染期間：発症2日前から発症後5日
- 従来の抗インフルエンザ薬やワクチンの有効性は明らかではない
- 重症肺炎からの死亡例が確認され、致死率は1～10%程度と推定



感染症パンデミックにおける看護活動 5単元

単元	項目
単元1 外来における個人・家族への支援 外来に発熱患者がやってくる	項目1 保健所への相談と発熱外来受診・患者の誘導 項目2 外来看護師による緊急のアセスメント 項目3 医師の診察・検査の支援と入院の調整 項目4 入院に関する本人・家族への説明
単元2 入院における個人・家族への支援	項目1 外来からの情報を元に、感染症病床の準備を行う 項目2 患者をストレッチャーで外来から、病床まで連れてくる 項目3 病室での対応と患者への説明 項目4 安楽な呼吸と排痰法の援助を行い、PPEを脱いで病室をでる 項目5 高齢患者の個室入院で必要な看護問題を考える
単元3 施設における個人・家族への支援	項目1 保健所等の連絡を受けて入所者の健康状態を観察し、情報を整理する 項目2 感染症の疑いがある入所者からの感染を防ぐ 項目3 職員の健康状態を判断して感染拡大予防とケアの継続をはかる 項目4 対策本部の構築と検討すべき対応 項目5 急変し、死亡した入所者の家族への対応
単元4 保健所における個人・家族への支援	項目1 感染症発生届を受けた後の保健所の対応と保健師の役割 項目2 積極的疫学調査の実際 項目3 濃厚接触者の特定と感染拡大のリスクの判定 項目4 関係機関・施設とのリスクコミュニケーション 項目5 濃厚接触者の健康観察
単元5 在宅における個人・家族への支援	項目1 濃厚接触者がいる家庭への訪問準備 項目2 近所への配慮と感染対策した家庭訪問の準備 項目3 家庭内のゾーニングと感染防止のための家族への指導

考えてみよう1 解説

2 現病歴

3 既往歴

4 薬歴

5 アレルギー



佐藤時枝さん

今までにかかったことがある病気や治療中の病気、アレルギーはありますか。

3年前に脳梗塞でね、左が動かないのよ。アレルギーはないわ。

血圧の薬かしら。

はい。

何かお薬は飲んでいますか。

お薬手帳を見せてください。



感染症外来
大塚看護師

考えてみよう1：解説1

PPE装着場所



教材の現在の活用方法

- 活用上の問い合わせや意見、JV-Campusのグループ機能の登録希望を受け付けるページを作成し、運用中

日本看護系大学協議会が提供するe-learning教材 (災害看護学・感染看護学)

ご意見
お問い合わせ

お知らせ

e-learning教材
の視聴・活用

e-learning教材
活用マニュアル

JV-Campusにてグループ登録をご希望の先生は、「グループ登録用メールアドレス連絡シート」をダウンロードいただき、必要事項を記入のうえ、JANPU事務局までメール添付でお送りください。

グループ登録用メールアドレス連絡シート



資料ダウンロード

Excel

皆様のサインアップをお待ちしています

- JV-Campus にアクセスしていただき、個人アカウントを作成していただくと無料で、どなたでも使用できます。
- 現在、2,549人（2026年3月現在）

サイン
アップ

JVCampus Empower [知] Wisdom
日本発のオンライン国際教育プラットフォーム

Search Content



Login
ログイン

Sign Up
サインアップ

日本語 / English

カテゴリ ▾ 機関一覧 ▾ 機関側サイト ▾ 連携プロジェクト ▾ 国内外支援 ▾

Japan Virtual Campus,
Where You Can Learn
With No Border

About JV-Campus / JV-Campusとは

北海道 函館山 Hakodateyama Hokkaido © 洞内定晴 クリエイティブ・コモンズ・ライセンス(表示4.0 国際)を改変して作成 (See map)